

地方自治のあり方  
特に財政と  
行政サービス

コミ協役員と  
自治会役員の  
兼任を許すべき

市議会議員制度改革  
直接民主主義との  
融会

自立した地域

コミュニティ  
のあり方  
と  
地域づくり

1班

現在の自治会に必要な  
ことと、不要なことを  
整理して解決する

財政問題  
の自治問題  
集約

自治会の役員と関係  
毎年、役員に引継ぎを  
行う。いかに全体に  
浸透させるか、行政サービス

自治会活動の中心メンバー  
若手育成と活用は  
行政サービスと連動させる

コミュニティの役割を  
明確にする

住民の意識  
→ 地域コミュニティの  
必要性 共通認識

コミュニティ形成の基本は  
自治会活動にある。市  
民の生活と自治会活動  
の連携を図る必要がある

自治会 役員の団体的  
な活動と関係  
(各個人で活動する)

自治会の班割りと役員  
持ち回り制度 毎年の集会  
あり方に疑問

子供達の住教育  
3.3と意識  
新しい公共

地域コミュニティの  
新たな構築

新しい住民が移住する地域と  
古い地域の生活状況の  
差が大きい  
(商店、病院、交通、道路整備)

自治会加入を積極的  
に進め、自治会活動  
の中心となるよう努める

親睦 交流と  
はかる

地域の人達と  
の接点がない  
ゴミ出し以外と関係  
ない

子供会(育成会)の  
リーダー育成

自治会があるのに  
コミ協が必要なのか  
審議して考える必要がある

家族構成、年齢、職業等  
がまちまちのため、平等な参加  
は難しい

市議会議員の活動と  
自治会活動との  
関係、自治会活動  
の活性化を図る

地域住民との接点か  
ないため、共通の目的か  
ない

住民の交流  
老若

子供から始める  
自治教育

テーマコミュニティと  
地域コミュニティを  
融合するもの?

越谷は、いまマンションが  
多いが若い人達は  
自治会参加をいやがる

夕デとヨコの  
コミュニティで分類

今年新しい確信  
行政に頼らず  
出来ることを試す

歴史

住民の個性と多様性を  
自治会活動に活かす  
必要がある。自治会活動は  
住民の生活と関係がある

自分から出来る  
役割を果たす

多くの安全な  
暮らしと自治会  
活動の連携を図る

# ◎近所の底力

子育て・防災防犯を

2班

コミュニティー課題

日時別 行政サービス  
基本は自治会のありさま  
など  
自治会の担い手の事業の  
多いため ~~多~~ 担い手の

自治会の  
運用規則を  
改善する

自治会に必要  
な通し見ささどう  
行事が (自治)  
一層すなりワズ (会長)

各地自治会連合会  
いかにして解消する

自治会生活のゆとり  
は他の町に比べて少ない  
特に高齢者が住むため  
自治会と関係が深くなる

合併前の旧町村  
圧制りは見直さへさ  
さあさと思う

自治会  
各町に  
自治会  
各町に  
自治会  
各町に

子育ても 防災防犯  
解決する  
近所の底力

公民館単位で市民の要求に基づき  
コミュニティを築くのがよい

自治会議員等  
選出されて自治会を  
運営するが、発言が  
ほとんどないのは問題

負担を皆つくり  
明るい社会建設  
を推進する

その他のコミュニティは  
他の地域との交流が  
有効的活動

自治会  
自治会  
自治会  
自治会

13歳でセンターの活動  
活動の発展  
子育て支援センター設置  
自治会の活動の発展

運用の改善

自治会  
必要性

ミイラム  
自治会活動  
進捗させている

昔の「向う三軒両どおし」  
にしたい

自治会は住民が仲良く  
親密に暮らすのが防災防犯  
子育てコミュニティ生活全般  
住民が活動する

自治会はむしろ  
地域の活力に  
ほしい (活動不足)

自治会の規則(条例)  
にある程度強制力  
が必要ではないか

同年代の法今選出  
志望の向うに合わせ  
地元親戚という  
地元の信頼は価値が  
極めて高い

各家庭の交通手段  
をいかに確保するか  
難しい problem がある

市民の意識の向上